

# 県民の健康守る裏方

私は健康を守る仕事を、より原因に近い所でしたいと考え、二十一年間の病院勤務を辞め、十二年前から県健康福祉センターで公衆衛生という仕事に就いています。

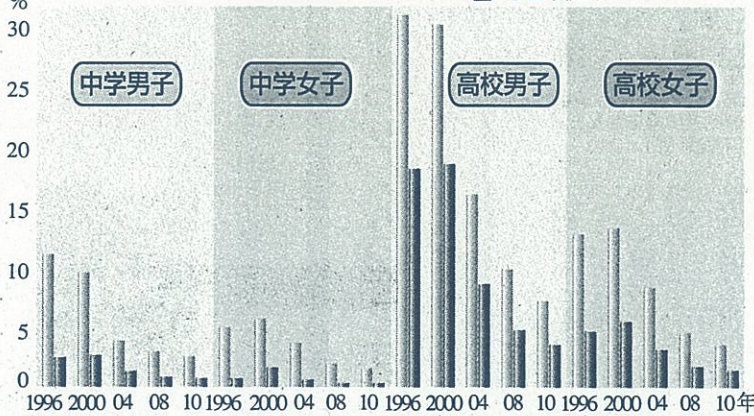
県丹南健康福祉センター所長

武藤 眞

## いきいきライフ

### 公衆衛生という仕事

中学生・高校生の喫煙頻度の推移  
■ 30日以内に1日でも喫煙  
■ 毎日喫煙



ん。日本で食や水に関して、活動の多くは目に触れ安心していられるのは、生ない所で行われ、皆さんに産や製造、供給などに、各は無意識のうちに、食の安種の制度や設備が整備さ全は当たり前と思っでもうれ、さらに多くの方々の日えるようになっているのでの努力があるからです。す。これは公衆衛生活動と健康福祉センターも含その成果の一つです。

現在、公衆衛生活動の大 きなターゲットの一つに 「がん」があります。がんは検診で早期発見し、病院で早期に治療してもらい完治するのが理想です。そこで、県を挙げてより多くの 人に検診を受けてもらっための工夫や努力をしてお り、また病院の整備や医療 機関の連携なども多くの関 係者によって進められ、着 実に成果を上げています。

ただ、そもそもがんにならなければ、もっと理想的です。現在分かっているが んの最大の原因はたばこで す。たばこを吸う人が減れ ば、がんになる人は将来確 実に減ります。吸っている 人がやめられるように、そ して若い人が吸い始めない ようにすることも重要な公 衆衛生活動となります。

法律や制度、関係者の努 力、たばこを吸える場所

や広告を減らしたり、未成 年者が入手しにくくしたり 価格を上げたり、学校を全 面禁煙にしたりとさまざまなことをしてきました。

健康

公衆衛生という言葉はあまり聞き慣れないかも知れませんが、簡単にいえば住民の皆さんの健康や生活を守る基盤をつくる活動です。国、県、市町をはじめ多くの関係機関が協力して行います。活動範囲は健康づくり、疾病予防から環境衛生まで幅広く、法律や制度をつくる部分、生活習慣など規制になじまないものは皆で改善活動をする、といった部分があります。

## がん検診の普及や禁煙

四月から毎月最終週のいきいきライフは、県健康福祉や医療の現場に携わる方々に執筆してもらいま す。